芦田川の汚れが減少
浄化チャレンジ月間の実施報告

芦田川環境マネジメントC
2007年から取り組む

芦田川の水環境改善を目指す官民ネットワーク「芦田川環境マネジメントセンター＝AEMC」（事務局＝福山市西町2−10−1・エフエムふくやま内、電090・2381・6619　担当直通／川嶋・柳井）は、昨年11月に実施した「家庭で出来る水質浄化の取り組み」を流域住民に呼びかける「河川浄化チャレンジ月間」の結果を発表した。

それによると瀬戸川流域ではBOD（水中の汚れの量）が約46％、T−P（水中のリンの量）も7％減少。高屋川流域ではBODが21％、T−Pは11％減少するなど、流域住民の積極的な協力により、効果が数字に表れたという。

取り組み内容は、①排水口にネットをかけて、調理くずや食べ残しを流さない②汚れのひどい鍋、食器類は、ふき取ってから洗う③食用油は直接流さず、紙にしみ込ませたり、固めたりして捨てる④食器類を洗う時に、洗剤の使用量を減らす⑤洗濯の時に、洗剤の適量使用を心がける――の5項目だった。

この取り組みは2007年からスタートし、通算で7回目となる。今年度は瀬戸学区、津之郷小学校、赤坂小学校、御野小学校、中条小学校、服部小学校及び流域の3市民団体が取り組み、アンケートを行なった結果、「家庭で環境について話すきっかけになった」「出来ていたこと、そうでなかったことに気付くことができた」などの意見が寄せられた。